

## 概要

- 漁獲量の減少と魚価の低迷、漁業基盤の老朽化、漁業者の高齢化と後継者不足などにより文化行事の維持・継承も困難となっているため、漁業にかかわる者の所得向上を可能とする次世代型の漁業、観光業、教育、地域が一体となった循環モデルの構築を図る。
- 関船、寺社、定置網漁、マリンスポーツなどを活用した「交流・学習・体験」メニューの充実を図り、修学旅行や企業研修の誘致を推進し、漁獲のみに依存しない「漁業」と文化の継承・教育を核とする「海業」を地域資源とした地域経済全体の活性化を目指す。



## 海業の取組概要

### 1. 地域資源を活用した交流・学習・体験メニューの充実による修学旅行や企業研修の誘致

- ・小中高生等に海の魅力を伝える体験プログラムの実施に向けた海に関わる様々な仕事に対する意識及びニーズの調査
- ・海の魅力を伝え、海の未来や地域の海に関わる仕事、活動への自分ごと化を高めるプログラムの作成



### 2. 文化の継承・教育の核となる海業と漁業の再考に基づく漁獲に依存しない漁業による産業構造化

- ・漁業等に携わる者の所得向上となる海業を志す人材育成につながるプログラムの作成
- ・次世代型の漁業、観光業、教育、地域が一体となった循環モデルの構築



### 3. 女性の活躍できる環境の整備

- ・就労環境における漁具の最適化や周囲の理解の醸成、ベテランによるサポート等によるジェンダーギャップの解消

## 期待される効果

- ・民間企業の参入による漁港を活用したコンテンツの創出
- ・新たなサービスの提供に伴う漁村来訪者の増加による雇用創出と漁業者の所得向上
- ・海業を志す人材の育成につながるプログラムや分析結果の活用

## 協力体制

荒志（地元有志）	熊野漁業協同組合
二木島地区町内会	里地区町内会
熊野市観光協会	マル松潜水
（一社）旅する学校	株式会社ゲイト
東京海洋大学	熊野市 三重県等

## スケジュール

令和6年7月	みえ熊野海業推進協議会設立
令和7年10月	体験学習に係るモニタリングツアー実施
令和8年	漁村文化体験プログラムの具体的開発